

Coffee Market Report

June 2025



INTERNATIONAL
COFFEE
ORGANIZATION

I-CIP (ICO複合指標価格) は下落を続け、2024年12月 以来初めて300セントを下回った

生豆価格

- ・ 2025年6月のI-CIP(ICO総合指標価格)は295.06セントとなり、2025年5月比で11.8%下落した。
- ・ 2025年6月のコロンビアンマイルドは360.08セントとなり、5月比で9.0%減少した。アザーマイルドは363.16セントとなり、同8.7%減少した。
- ・ ブラジリアンナチュラルは338.53セントとなり、10.9%下落した。
- ・ ロブスタは196.21セントとなり、17.5%下落したことで最も大幅な下落幅になった。
- ・ 2025年5月から6月にかけて、コロンビアンマイルド-アザーマイルドの価格差は-2.25セントから-3.08セントに縮小
- ・ ロンドンとニューヨーク先物市場間のアービトラージは146.35セントとなり、1.9%拡大した
- ・ ICO総合指標価格の日中変動率は10.2%となり、5月比で0.9ポイント低下した
- ・ ロンドンのロブスタコーヒー認証在庫は6月末時点で87万袋となり、5月比で4.9%減少した
- ・ 同じくアラビカコーヒー認証在庫は60kg袋ベースで91万袋となり、5月比で2.6%減少した

生豆 グループ別輸出

2025年5月の生豆輸出量は以下の通りになった

- ・ コロンビアンマイルドは前年同月(2024年5月)の98万袋から3.0%減の96万袋になった。
- ・ アザーマイルドは同期間の254万袋から4.2%増の265万袋になった。
- ・ ブラジルナチュラルは前年同月の371万袋から11.2%減の329万袋になった。
- ・ ロブスタは同期間の359万袋から20.1%増の431万袋になった。
- ・ コーヒー年度2024/25年の最初の8か月(2025年5月まで)における生豆輸出総量に占めるアラビカ種の割合は、前年同期の60.8%から62.9%になった。

地域別輸出量 — すべてのコーヒー形態

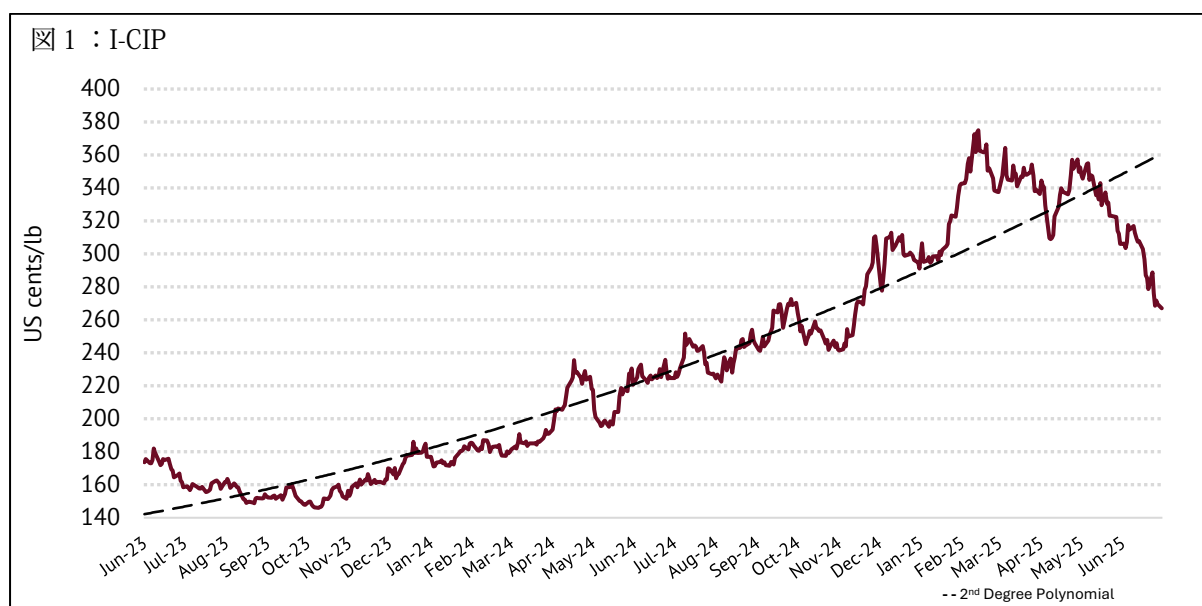
- ・ 2025年5月の輸出は以下の通りとなった。
- ・ 全世界のコーヒー輸出量が前年同月の1,205万袋より4.9%増加して1,265万袋になった。
- ・ アジア・オセアニアが前年同月の276万袋より48.9%増加して411万袋になった。
- ・ アフリカが前年同月の175万袋より33.3%増加して233万袋になった。
- ・ 南米が前年同月の550万袋より25.7%減少して408万袋になった。
- ・ メキシコ・中米が前年同月の205万袋より3.8%増加して213万袋になった。

形態別コーヒー輸出

- ・ 2025年5月のソリュブルコーヒー総輸出量は、2024年5月の115万袋から133万袋へ15.4%増加した。
- ・ 2025年5月の焙煎豆輸出量は、2024年5月の8万袋から12万袋へ46.8%増加した。

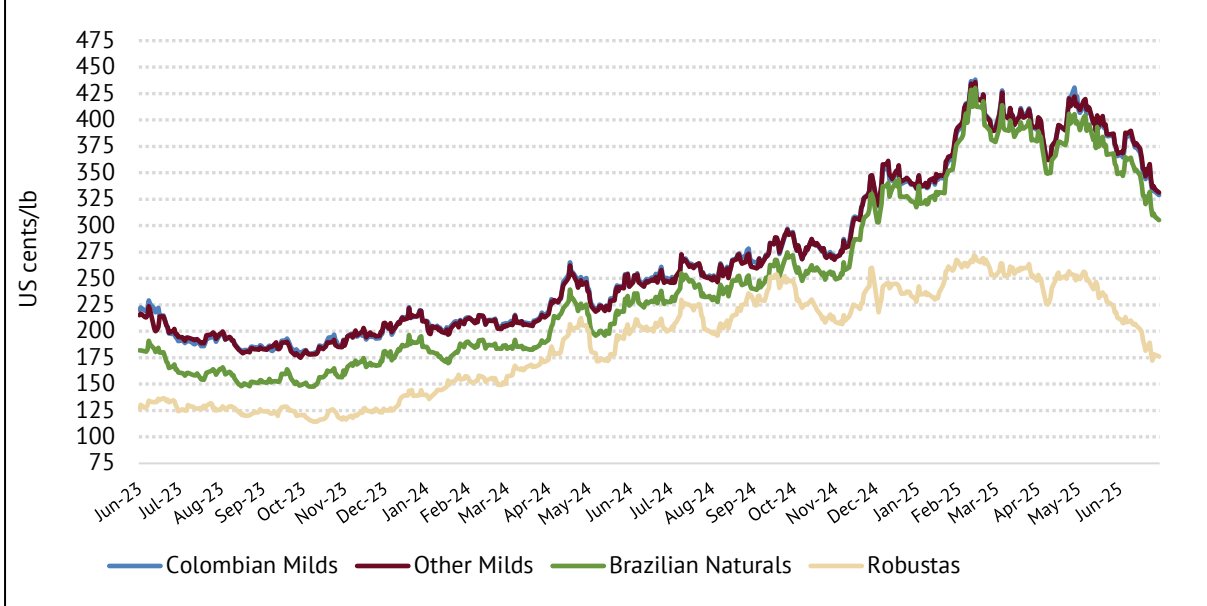
生豆価格

ICO複合指標価格（I-CIP）は2025年6月に平均295.06セントとなり、2025年5月比で11.8%減少した。I-CIPが300セントの水準を下回ったのが2024年12月以来初の安値となった。I-CIPの中央値は303.02セントとなり、267.02セントから317.41セントの範囲で変動した。6月を通じてI-CIPは下落基調を辿った。2025年6月のI-CIPは2024年6月比で30.1%上回り、12カ月移動平均は294.39セントとなった。



コロンビアンマイルドとアザーマイルドの価格はともに2025年5月と比べてそれぞれ9.0%および8.7%減少し、25年6月に平均360.セントおよび363.16セントになった。ブラジルナチュラルも同期間に10.9%下落して338.53セントになった。ロブスタは最も大きく下げ、17.5%減の196.21セントになった。ロブスタ価格が200セントの水準を下回るのは2024年1月以来初となった。ロンドンICE市場価格は18.4%減少して183.21セントになり、ニューヨークICE市場価格は10.5%減少して329.56セントになった。

Figure 2: ICO Group Indicator Daily Prices 図2：ICOグループ指標価格



供給余剰が2025年5月のI-CIPの下落の主因となり、6月の継続的な下落でも中心的要因となった。2025年6月2日に米国農務省が発表した世界コーヒー需給バランスの半期報告で、2025/26年度の余剰が、2024/25年度の788万袋から932万袋になると推定された。さらに、ICE認証在庫が5月末に185万袋と9カ月ぶり高水準になり、市場心理の悪化に拍車をかけたが、6月末には178万袋になった。

6月23日にブラジル主要生産地サンパウロ州とミナスジェライス州で霜害が報じられ、I-CIPが急上昇した。I-CIPは6月20日の278.75セントから3.6%上昇して288.8セントになった。しかし、その上昇は続かず、その後の気象報告で両州の霜害リスクが後退したため、短期間で終わった。

2025年5月から6月にかけてコロンビアンマイルド-アザーマイルドの格差は-2.25セントから-3.08セントへさらに縮小した。コロンビアンマイルド-ブラジリアンナチュラルの格差は38.4%拡大し21.55セントとなり、一方コロンビアンマイルド-ロブスタの格差は同期間で3.8%増加して平均163.86セントとなった。同期間にアザーマイルド-ブラジリアンナチュラルとアザーマイルド-ロブスタの格差はそれぞれ38.2%および4.3%拡大し、24.63セントおよび166.95セントとなった。ブラジリアンナチュラル-ロブスタの格差は0.04%拡大し、2025年6月には平均142.32セントを記録した。

ロンドン及びニューヨーク先物市場間のアービトラージは2025年6月に1.9%拡大し146.35セントとなった。

図3：ニューヨーク・ロンドン間のアービトラージ

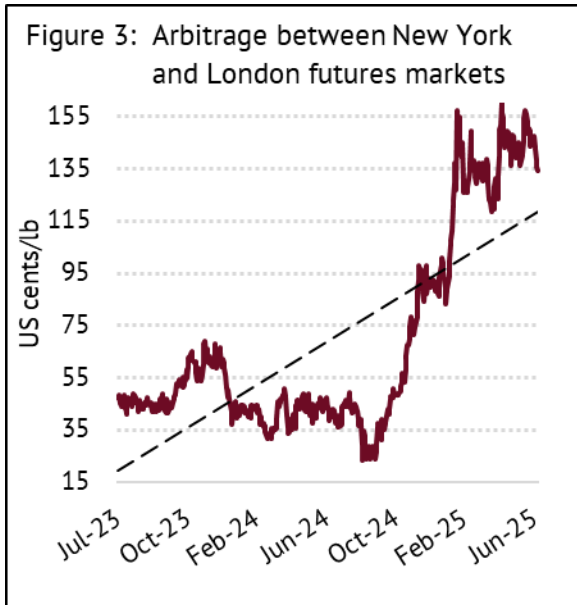
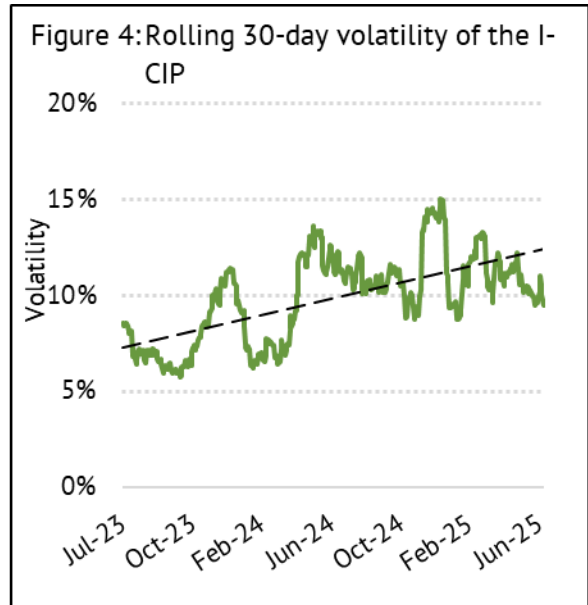


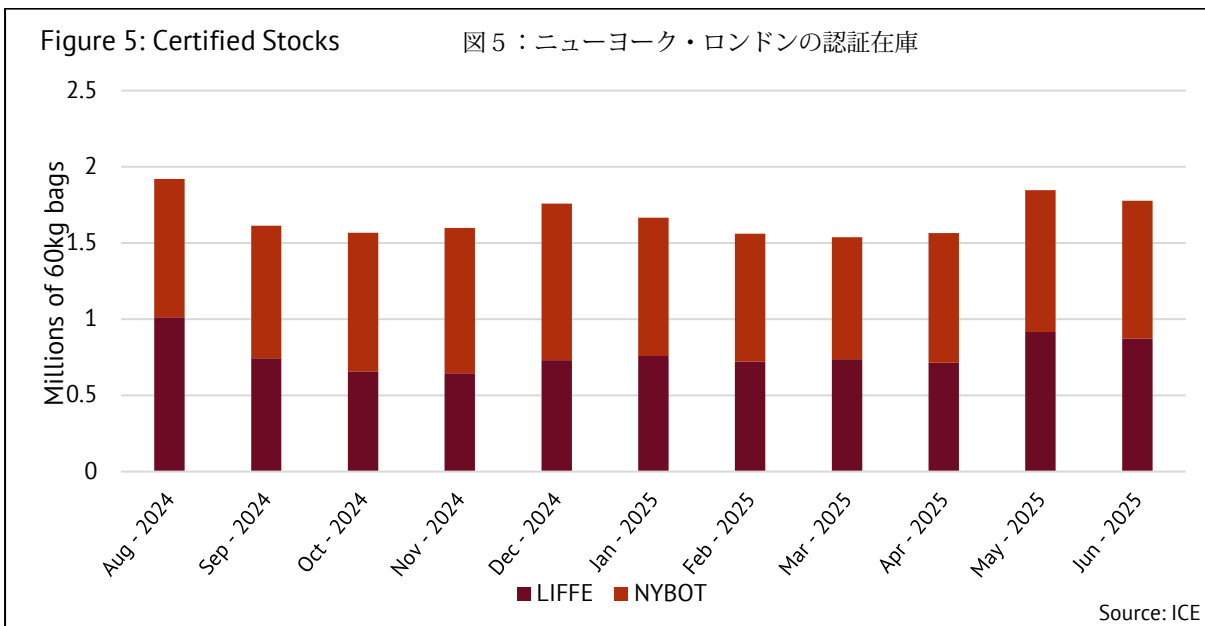
図4：ICO複合指標価格のボラティリティ30日移動平均



ICO総合指標価格（I-CIP）の日中変動率は2025年6月に平均10.2%となり、2025年5月比で0.9ポイント低下した。コロンビアンマイルド、アザーマイルド、ブラジリアンナチュラルの変動率は前月比でそれぞれ1.2、1.0、0.6ポイント変動し、2025年6月には10.1%、10.2%、12.2%となった。ロブスタの変動率は2025年5月の11.5%から10.2%に低下した。ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の変動率は2025年6月にそれぞれ10.6%、10.3%となり、5月比で1.8ポイント、1.2ポイント低下した。ロンドンのロブスタコーヒー認証在庫は2025年6月末時点で87万袋となり、5月比で4.9%減少した。アラビカコーヒーの認証在庫も同時点で91万袋となり、5月比で2.6%減少した。

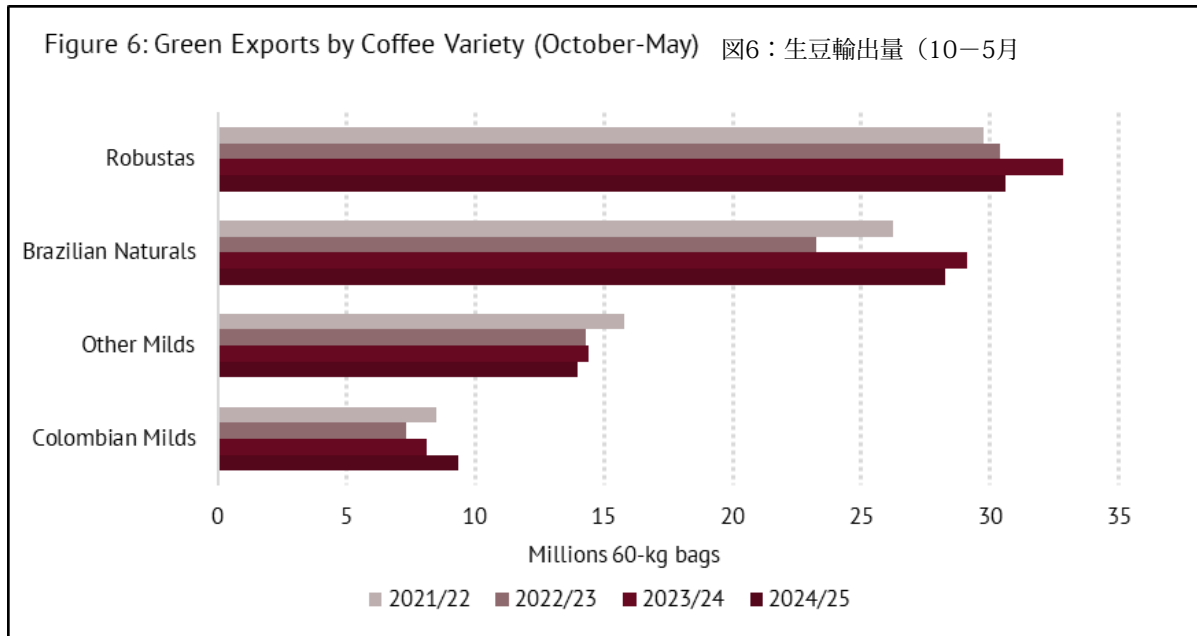
Figure 5: Certified Stocks

図5：ニューヨーク・ロンドンの認証在庫



コーヒーグループ別輸出量 - 生豆

2025年5月の世界の生豆輸出総量は1,120万袋になった。前年同月（2024年5月）の1,082万袋から3.5%増になった。最近の落ち込みは主にロブスタによる。その結果、生豆輸出総量の年初来累計は前年同期（2023年10月～2024年5月）の8,461万袋から3.1%減の8,197万袋になった。



コロンビアンマイルドの輸出量が2025年5月に前年同月の98万袋から3.0%減少して96万袋になった。コロンビアンマイルドは19カ月連続の増加の後、初めてのマイナス成長になった。結果として、2024年10月～2025年5月の年初来累計輸出量は前年同期の809万袋から15.5%増の935万袋になった。

マイナスの主要因はコロンビアで、輸出量は前年同月の85万袋から3.6%減少して82万袋になった。コロンビアは17カ月連続の上昇後、2回目の減少になった。同国の輸出動向の反転は、2024年に観測された豊作への自然な反応とみられる。

2024年の輸出量は17.0%増の1,138万袋になり、2023年暦年比で165万袋の純増だった。

2025年5月のアザーマイルド出荷量は、2024年同月の254万袋から265万袋へ4.2%増加した。主な増加要因はエチオピアとニカラグアで、それぞれ40.9%増と66.0%増となり、純増量は9万袋と16万袋だった。グループ全体の成長率が比較的抑制されたのは、メキシコからの輸出が56.9%減少し、10万袋の純減となったことで一部相殺された為である。

ブラジリアンナチュラルの生豆輸出量は2025年5月に前年比11.2%減の329万袋となった。主要因はブラジルで、同国の輸出は2024年5月の306万袋から2025年5月に237万袋へ22.5%減少した。このマイナス成長はベース効果とブラジル産アラビカコーヒーの強い周期性によるものだった。コーヒー年度2023/24はブラジリアンナチュラルの輸出が年計で21.7%増、2024年5月対2023年5月で40.8%増となる表作だった。緩衝要因となったのはエチオピアで、同国の輸出は2024年5月の47万袋から2025年5月に67万袋へ42.6%増加し、ブラジルの落ち込みによるマイナス影響を和らげた。

この二桁増加は、コーヒー年度2024/25年度収穫からの前倒し出荷と、国際コーヒー価格の高止まりを受けて在庫を大量に放出したことによるものである。特に、エチオピアは高価格の恩恵を受けていた。

生豆ロブスタ輸出量は2024年5月の359万袋から2025年5月に20.1%増の431万袋になった。この伸びの主因はベトナムで、同国の輸出量は2025年5月に87.3%増の236万袋になり、110万袋の純増をもたらした。

インドネシアとウガンダも2025年5月のロブスタ二桁成長を牽引し、それぞれ輸出量は381.6%増の38万袋、45.9%増の22万袋になった。これに対してブラジルは2024年5月の97万袋から79.1%減の20万袋になり、ある程度の相殺要因となった。ブラジルの急落は、2023年7月～2024年10月に1,227万袋、コーヒー年度2023/24に937万袋という異常に高い水準で輸出が続いた後、相対的に正常水準へ戻ったことが反映された結果である。

コーヒー年度2024/25年の最初の8か月（2025年5月まで）における生豆輸出総量に占めるアラビカ種の割合は、前年同期の60.8%から62.9%になった。

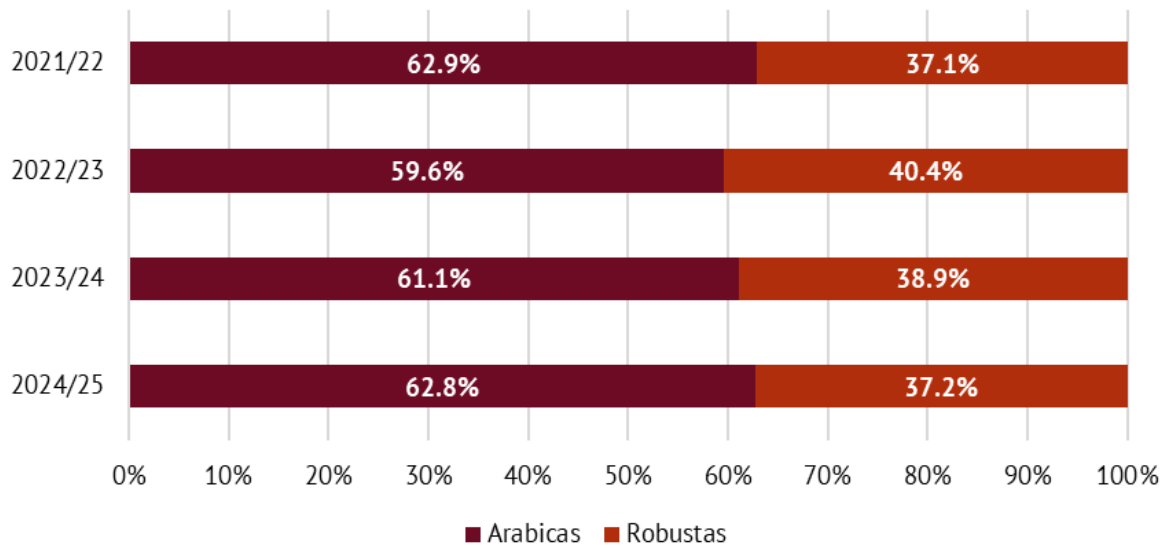
地域別のコーヒー輸出量 - 全形態

2025年5月、全世界のコーヒー輸出量が前年同月の1,205万袋から4.9%増加して1,265万袋になった。しかし、年初来累計輸出量は前年同期の9,344万袋から9,129万袋に減少した。4地域中3地域の輸出が増加し、南米だけが減少した。

南米は7カ月連続の減少になり、その結果、同地域の全体輸出に占めるシェアは2025年5月に32.3%になった（2024年5月は45.6%だった）。

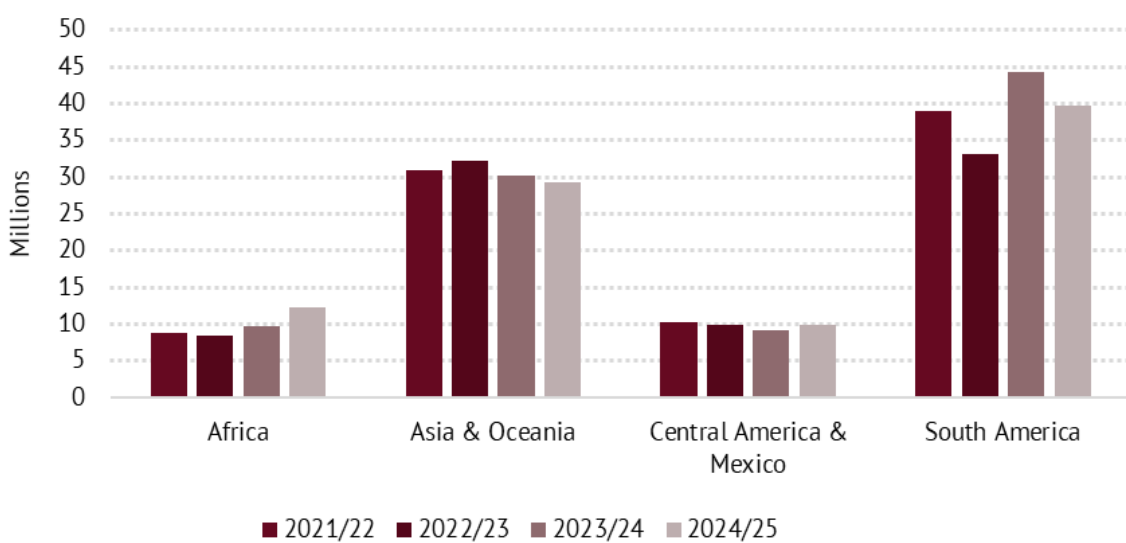
アジア・オセアニア地域からのコーヒー全形態の輸出量は、2024年5月の276万袋から2025年5月に411万袋へ48.9%増加した。この拡大はベトナムによる輸出増が牽引し、同国の輸出量は2024年5月の136万袋から2025年5月に254万袋へ87.3%増加したというベース効果を反映している。実際、2024年5月の輸出は2009年の134万袋以来、最少の5月出荷だった。ちなみに、2018～2022年の5月平均出荷量は232万袋である。インドネシアも地域の二桁成長に寄与し、同国の輸出量は2024年5月の62万袋から2025年5月に76万袋へ23.3%増加した。2024/25年度の初めの8カ月で7度の増加を記録し、通算輸出量は53.0%増の606万袋に達した。この好調な輸出実績の背景には、2024/25年度の予想を上回る収穫によって輸出可能供給量が増加した為である。

Figure 7: Share of Green Exports by Coffee Species (October-May) 図7：生豆輸出量内訳（10-5月）



アフリカ産コーヒーの2025年5月の全形態輸出量は前年同月の175万袋から233万袋へと33.3%増加した。エチオピアとウガンダが地域全体の成長を牽引し、各々輸出量は98万袋と79万袋へ、42.0%および43.3%増加となった。両地域とも、高い国際コーヒー価格を背景に収穫量増加に伴う供給拡大と前倒し出荷が重なったことが増加の要因である。市場では2024/25年度がエチオピアにとって表作となり、生産量が50万袋純増すると多くの関係者が予想する。ウガンダコーヒー開発庁は、マサカおよび南西部地域のメイン収穫期における豊作が輸出量増加の主因であると説明している。

Figure 8: Total Exports by Producing Regions (October-May) 図8：生産地域別輸出量(10-5月)

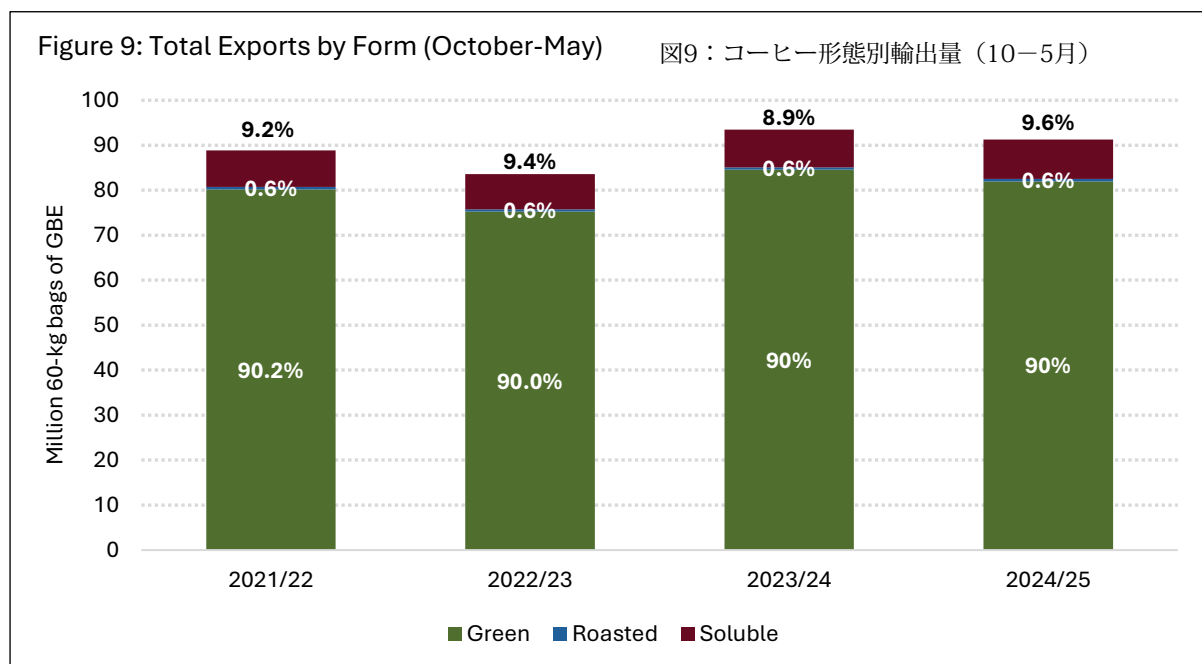


南米におけるコーヒー全形態の輸出量は、2025年5月に550万袋から25.7%減の408万袋になった。これで同地域のマイナス成長は16か月続いたプラス成長に続き、7か月連続になった。落ち込みの主因はブラジルで、同国の輸出量は2024年5月の437万袋から31.8%減の298万袋になった。この数量と前年比の落ち込みはベース効果によるものである。2023/24年度には、ブラジルが過去最高の5,010万袋を輸出し、2022/23年度の3,709万袋を1,301万袋上回った。これは35.1%の増加に該当する。この大幅な増加の大部分は、ベトナムの不作による供給問題に対応したもので、ベトナムは同年度に11.7%減の331万袋の純減になった。現在、この供給ギャップが解消されたことで対応へのプレッシャーが緩和され、ブラジルの輸出が減少した。

2025年5月、メキシコ・中米の全コーヒー形態輸出量が前年同月の205万袋より3.8%増加して213万袋になった。同地域は2024/25年度の最初の8か月で7か月目の拡大になり、年初来累計輸出量が前年同期比8.4%増加して991万袋になった。直近の上昇の主要因はニカラグアで、2025年5月の輸出量が前年同月の25万袋より60.8%増加して40万袋になった。これは史上3番目に多い輸出量であり、5月としては歴代2番目に高い記録になった。

形態別コーヒー輸出量

2025年5月のソリュブルコーヒー総輸出量は、2024年5月の115万袋から133万袋へ15.4%増加した。



2024/25コーヒー年度（2024年10月～2025年5月）におけるソリュブルコーヒーの全形態コーヒー総輸出に占めるシェアは、コーヒー年2023/24同期の9.6%から10.5%へ上昇した。ブラジルは2025年5月のソリュブルコーヒー最大の輸出国で、37万袋を出荷した。

2025年5月の焙煎豆輸出量は、2024年5月の8万袋から12万袋へ46.8%増加した。

表 1 : ICO指標価格と先物 価格(US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Jul-24	236.54	257.82	257.10	239.70	214.72	235.15	193.93
Aug-24	238.89	263.67	261.38	242.15	214.69	239.29	197.81
Sep-24	258.84	279.27	278.52	257.24	241.93	254.43	225.13
Oct-24	250.56	277.10	276.82	255.85	221.93	250.62	207.11
Nov-24	270.72	306.21	304.98	285.59	226.11	277.04	214.43
Dec-24	299.61	341.00	343.34	326.97	236.73	317.00	226.28
Jan-25	310.12	351.93	354.47	339.18	245.29	328.94	234.33
Feb-25	354.32	410.64	409.48	401.10	263.08	388.18	253.48
Mar-25	347.85	404.97	404.02	392.48	257.61	382.75	247.63
Apr-25	335.76	394.14	392.84	378.27	246.39	370.37	235.69
May-25	334.41	395.59	397.84	380.02	237.76	368.21	224.63
Jun-25	295.06	360.08	363.16	338.53	196.21	329.56	183.21
% change between May-25 and Jun-25							
	-11.8%	-9.0%	-8.7%	-10.9%	-17.5%	-10.5%	-18.4%
Volatility (%)							
May-25	11.1%	11.3%	11.2%	12.8%	11.5%	12.4%	11.5%
Jun-25	10.1%	10.0%	10.1%	12.0%	10.3%	10.4%	10.5%
Variation between May-25 and Jun-25							
	1.0	1.3	1.1	0.8	1.2	2.0	1.0

* Average prices for 2nd and 3rd positions

表 2 : 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Jul-24	0.72	18.12	43.10	17.40	42.38	24.98	41.21
Aug-24	2.29	21.53	48.98	19.24	46.69	27.45	41.48
Sep-24	0.75	22.03	37.34	21.28	36.60	15.31	29.30
Oct-24	0.28	21.25	55.17	20.97	54.89	33.92	43.50
Nov-24	1.24	20.62	80.10	19.38	78.87	59.48	62.60
Dec-24	-2.34	14.03	104.27	16.37	106.61	90.24	90.72
Jan-25	-2.54	12.75	106.64	15.30	109.18	93.88	94.60
Feb-25	1.16	9.54	147.56	8.37	146.40	138.03	134.70
Mar-25	0.95	12.49	147.37	11.54	146.42	134.87	135.11
Apr-25	1.30	15.87	147.75	14.57	146.44	131.87	134.67
May-25	-2.25	15.57	157.83	17.83	160.09	142.26	143.58
Jun-25	-3.08	21.55	163.86	24.63	166.95	142.32	146.35
% change between May-25 and Jun-25							
	36.9%	38.4%	3.8%	38.2%	4.3%	0.0%	1.9%

* Average prices for 2nd and 3rd positions

Table 3: World Supply/Demand Balance 表3：世界のコーヒー需給バランス

Coffee Year	2018/19	2019/20	2020/21	2021/22	2022/23	2023/24*	% change
PRODUCTION	169.8	168.4	170.8	168.0	168.2	178.0	5.8%
Arabica	99.5	96.4	100.6	92.3	94.0	102.2	8.8%
Robusta	70.3	72.0	70.3	75.7	74.2	75.8	2.1%
Africa	18.5	18.5	19.2	19.3	17.9	20.1	12.1%
Caribbean, Central America & Mexico	21.3	19.2	19.7	18.9	19.2	18.7	-2.5%
South America	81.9	81.1	83.9	77.6	81.3	89.3	9.8%
Asia & Oceania	48.1	49.6	48.0	52.2	49.8	49.9	0.3%
CONSUMPTION	171.2	168.6	169.9	176.6	173.1	177.0	2.2%
Exporting Countries	52.5	52.2	53.1	54.4	55.1	56.5	2.6%
Importing Countries (Coffee Year)	118.6	116.4	116.8	122.2	118.1	120.5	2.1%
Africa	11.9	12.1	13.0	12.9	12.2	12.5	2.6%
Asia & Oceania	39.9	40.1	42.2	44.2	44.5	45.7	2.7%
Caribbean, Central America & Mexico	5.8	5.8	5.9	6.0	6.0	6.1	2.3%
North America	31.8	30.6	30.2	31.3	29.8	30.9	3.8%
South America	26.3	26.0	26.4	27.0	27.5	28.0	1.6%
Europe	55.5	54.0	52.2	55.2	53.1	53.7	1.1%
BALANCE	-1.3	-0.2	0.9	-8.6	-4.9	1.0	

*preliminary estimates

表4：輸出国の輸出量

	May-24	May-25	% change	Year to Date Coffee Year		
				2023/24	2024/25	% change
TOTAL	12,053	12,648	4.9%	93,440	91,293	-2.3%
Arabicas	7,939	7,653	-3.6%	56,273	56,723	0.8%
Colombian Milds	1,079	1,063	-1.5%	8,709	10,070	15.6%
Other Milds	2,868	3,020	5.3%	16,512	16,298	-1.3%
Brazilian Naturals	3,992	3,571	-10.5%	31,051	30,355	-2.2%
Robustas	4,114	4,995	21.4%	37,167	34,570	-7.0%

In thousand 60-kg bags

Monthly trade statistics are available upon subscription

表5：ニューヨーク先物市場とロンドン先物市場の認証在庫

	Jul-24	Aug-24	Sep-24	Oct-24	Nov-24	Dec-24	Jan-25	Feb-25	Mar-25	Apr-25	May-25	Jun-25
New York	0.87	0.91	0.87	0.91	0.95	1.03	0.91	0.84	0.80	0.85	0.93	0.91
London	0.99	1.01	0.74	0.66	0.65	0.73	0.76	0.72	0.74	0.71	0.92	0.87

In million 60-kg bags

表3注釈

各年について、事務局は加盟国から得た統計を用い、生産・消費・貿易・在庫の年次推計および予測を実施する。文書ICC-120-16の段落100で指摘されているように、加盟国からの情報が不完全・遅延・矛盾している場合は、他の情報源のデータを補完的に用いる。また、非加盟国の需給バランスシート作成にあたっては複数の情報源を考慮する。

事務局は世界の需給バランスを検討する際、各年10月1日から始まるコーヒー年度（マーケティングイヤー）の概念を採用する。コーヒー生産国は地域や作柄年（1収穫期から次の収穫期までの12か月間）がそれぞれ異なる。現在、事務局で用いられている作柄年は4月1日、7月1日、10月1日始まりの3パターンである。整合性を保つため、各国の収穫月に応じて作柄年ベースの生産データをコーヒー年度ベースに換算している。こうして世界全体の需給バランスおよび価格をコーヒー年度ベースで分析することで、市場状況を同一期間内で評価可能となる。

一例として、コーヒー年度2020/21年は2020年10月1日に始まり、2021年9月30日に終了した。しかし、4月1日始まりの生産年度を持つ生産者では、生産年度の生産量が2つのコーヒー年度にまたがる。ブラジルの2020/21生産年度は2020年4月1日に始まり2021年3月31日に終了し、コーヒー年度2020/21年の前半をカバーした。しかし、ブラジルの2021/22生産年度は2021年4月1日に始まり2022年3月31日に終了し、コーヒー年度2021/22年の後半をカバーした。生産年度の生産量を単一のコーヒー年度に取り込むため、事務局は2020/21年4月～2021年3月の生産年度生産量の一部と2021/22年4月～2022年3月の生産年度生産量の一部をコーヒー年度2020/21年の生産量に配分した。なお、コーヒー年度ごとの生産量推計は各国別に作成されるものの、これは一貫した集計上の需給バランスを分析するためのものであり、各国で実際に行われた生産量をそのまま示すものではない。

注意: 提供された資料は、国際コーヒー機関（ICO）を出典として明示すれば、全部または一部を電子的または機械的手段（複写、録音、情報保存・検索システムの利用など）により、いかなる形態でも使用、複製、伝送できる。